

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2933号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 石田直裕：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

橋杭岩の日の出 (和歌山県串本町)



もくじ

- 政 策
- 情 報
- 情 報
- 情 報
- 随 想

成長産業化に向けた地道な取組に成果、木材輸出額は45%の大幅増
— 2014年度「森林・林業白書」 —
町村Navi 住民参加の海士町版創生総合戦略会議「あすあま」…………… 島根県海士町…………… (2)

国政情報…………… (5)

町村ご当地キャラじまん…………… (8)

水と緑の心の源流郷…………… (9)

…………… (10)

神奈川県町村会長・清川村長 大矢 明夫…………… (10)

コラム

切磋琢磨

千葉市男女共同参画センター名誉館長
NHK番組キャスター

加賀美 幸子

どう生きようか・生きようぞ…生命の誕生から約38億年、かりにやっと生まれてきたのだから、そして決して長くはない人生なのだから、なにを目的に、どんな暮らしをしたらよいか…その思いは一人ひとり誰の中にもあるにちがいない。

世界中、一人として同じ人間はいない。何という不思議さ。幸・不幸は別に、成功・失敗は別に、みんなそれなりの努力をしながら生きている。

「切磋琢磨」という言葉を聞かない日はほとんどないくらい、私たちはこの言葉を日常的に使っている。学校で、研究の場で、職場で、家で…一生懸命生きようとすることを表す象徴的な言葉である。古くは紀元前からあったにも関わらず、少しも古びず、人々は使う。

中国で一番古い「詩経」という詩集の中に、すでに「切磋琢磨」という詩が入っている。孔子が編纂したと言われる詩集だが、孔子と

いけば紀元前、約500年の人。編集・編纂ということは、もっと前からあった言葉のはずである。日本はまだ縄文時代。そのころから「切磋琢磨」という詩は存在していたのである。

「…匪^ひたる君子^{くんし}有り 切^{せう}するが如^{ごと}く 磋^さするが如^{ごと}く、琢^{たく}するが如^{ごと}く 磨^まするが如^{ごと}く。瑟^じたり侗^{どう}たり 赫^{かく}たり嘒^{けん}たり 匪^ひたる君子^{くんし}有り、終^{つひ}に譲^{じやう}る可^べからず」(美しく文才のある君子がいて、骨や角を削り、石を打って磨き、美しく整えるように自分自身を磨いて努力していた。学問をし、心を広くし、明るく輝いている。そのように力をこめて生きる君子の姿は長く忘れることができない)

…切磋琢磨…切する。磋する。琢する。磨する。紀元前500年以上前からあった詩の中の言葉なのである。時代を超え、国を超え、地域を超え、人々は切磋琢磨してきたのだと、改めてこの言葉の力と意味を感じて、新鮮に励まされる。

写真キャプション

海の浸食により岩の硬い部分だけが残り、あたかも橋の杭だけが立っているように見える奇岩群、橋杭岩。吉野熊野国立公園地域にあり、国の天然記念物に指定されている観光名所である。朝日百選の認定も受けているこの風景は、見る季節や時間によって様々な姿形を変える。

政策解説

成長産業化に向けた地道な取組に成果

～木材輸出額は45%の大幅増～

— 2014年度「森林・林業白書」 —

5月29日、2014年度「森林・林業白書」が閣議決定された。政府は、新たな木材需要の創出等により、林業・木材産業の成長産業化を実現し、山村地域に産業と雇用を生み出す方針を打ち出しているところだが、2014年度の木材輸出額は45%増と大幅に伸びた。13年度の木材自給率は前年比0.7ポイント増の28.6%となった。

8月11日「山の目」が祝日に

白書が2014年度トピックスの1番めに挙げたのが、林業の世界を描いた映画『WOOD JOB』の公開である。三浦しおんのベストセラー小説『神去なあなあ日常』を、『ウォーターボーイズ』の矢口史靖監督が映画化。都会育ちの若者が、山奥の村で林業に従事することになり、悪戦苦闘しながら成長する姿を涙と笑いでさわやかに描く。

若者が林業に飛び込むきっかけとなるのが、林野庁が2003年度から実施している「緑の雇用」事業。林業就業に意欲を有する若者に対して基本的な技術の修得を支援するものだ。実際、事業開始以来、林業への新規就業者数は大幅に増加している、と白書はいつ。

また映画の中では、「森林施業プランナー」や「森林総合監理士（フォレストスター）」、しいたけや木炭の生産、

野生鳥獣の狩猟など、さまざまな「森林（もり）の仕事」が垣間見られる。

トピックス2は、「CLT（直交集成板）の普及に向けたロードマップ」公表である。CLTは間伐材などを縦と横に交互に重ねて作る分厚いパネルで、欧米では中高層建築物の壁や床等に利用されている。日本ではまだ建築素材として認められていないが、林業成長の起爆剤として技術整備が進められている。ロードマップでは、2016年度早期に建築基準告示をし、実証的な建築事例を積み重ね、2024年度までに50万㎡の生産体制を目指すことが示された。

トピックス3は、「山の日」の制定。2016年より8月11日は「山の日」として国民の祝日となることが決まった。

トピックス4は、山地災害である。2014年度は御嶽山の噴火、広島県での集中豪雨による土石流災害などが発生した。治山施設の整備や森

林整備の推進による「緑の国土強靭化」の重要性がますます高まっている。

トピックス5では、秋に開催された「農林水産祭」の林産部門で、天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞を受賞した1個人、2企業を紹介している。

戦後、植林された木材の本格的な利用期到来

第1章では木材産業についてまとめられている。

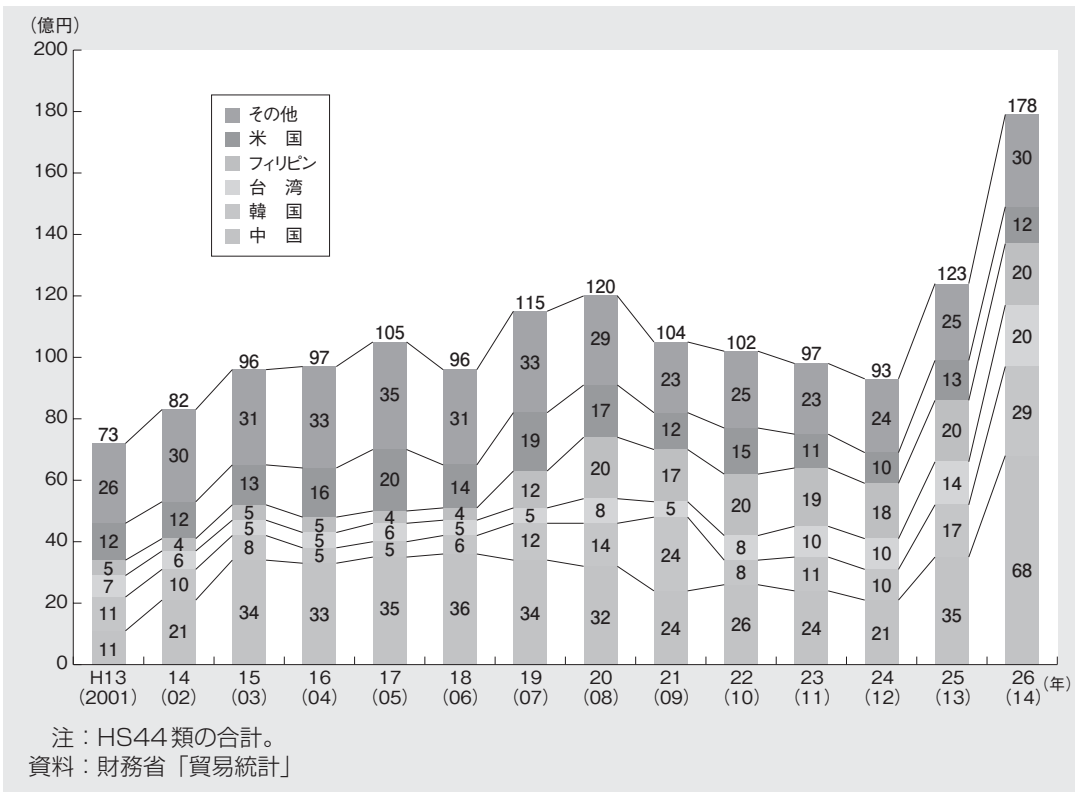
我が国の木材産業は、戦後、住宅着工や紙の生産が増大したため、右肩上がりに供給量を増やしたが、国内生産が限界となり、1960年代からは輸入材が増加。木材価格が下落したこともあり、経営コストの高い国内林業経営は採算性が悪化し、林業生産活動は停滞した。

現在、戦後に植林された人工林資源が本格的な利用期を迎えており、林業・木材産業には、需要に応じた効果的・安定的な供給体制を構築することが求められている。

具体的には、ニーズの高い木材製品の生産・販売とともに、新たな需要の創出に向け、CLT、木質系耐火部材、セルロースナノファイバーなどの新製品の開発が進められてい

政 策

■参考1 我が国の木材輸出額の推移



る。林業経営では、施業の集約化、路網の整備、機械化の推進、造林・保育コストの低減、森林認証の拡大などが求められている。

第II章では森林の整備・保全につ



いてまとめられている。

森林は、環境面への役割が大きい。国土を保全し、水源を涵養し、地球温暖化を防止するなどの機能をはたしている。植林し、手を入れ、守っていかなくてはならない理由がここにある。また、災害への備えも重要だ。たとえば、2014年8月の豪雨で、兵庫県丹波市では甚大な被害が発生したが、治山ダムが渓岸侵食や流木流出を抑制し、下流集落への被害を軽減した。



第III章では林業と山村についてまとめられている。

林業生産額を見ると、木材生産と栽培きのこ類の生産でほぼ半々となっている。木材生産は1980年の9、717億円をピークに年々減少しており、2013年は2、221億円であった。きのこ類は1991年の2、396億円がピークでほぼ横ばいに推移し、2013年は2、035億円であった。

我が国の私有林は、保有面積が小さいのが特徴で、経営の効率化のためには集約が必要である。このため、提案型集約化施策を担う「森林施業プランナー」の育成が行われている。

きのこ類の価格は、2013年は生しいたけ等は上昇したが、乾しいたけは下落。政府は、きのこ類の消費拡大・安定供給に向けた取組を支援している。

また山村は、住民が林業を営む場であるが、過疎化・高齢化が進行している。政府が発表した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2014年12月)には、森林資源の循環利用を図りつつ、林業の成長産業化を実現することが必要であろうとわられた。例として、栃木県の団体が、放置竹林の整備を行い、搬出した竹をチップ化し、農業用の土壌改良材として利用している様子が挙げられている。



第IV章では、木材需要と木材利用についてまとめられている。

世界の木材需要はリーマンショックという経済危機が起こった2008年秋以降減少したが、2010年からは再び増加している。政府は「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」(2013年8月)で、2012年に123億円(うち木材93億円)であった林産物輸出額を、2020年までに250億円とする目標

政 策

を立てている。中国の木造建築基準改定作業への参加などを行い、目標達成に向けて努力しているところだ。2014年の木材輸出額は、円安の追い風を受け前年比45%増の178億円だった。14年の輸出先は中国が最も多く、韓国・台湾・フィリピンといったアジア諸国が上位をしめている。これらの新興国では、経済発展や人口増加により、今後木材需要の増加が見込まれている。

国内の木材需要は、2009年を底にやや持ち直しており、2013年は新設住宅着工数の増加等により前年比4.6%増の7,387万m³(丸太換算、以下同)となった。このうち、国内供給は2,112万m³、木材輸入量は5,275万m³で、木材自給率(用材)は、前年比0.7ポイント増の28.6%となった。

政府は国内需要喚起のために、一般消費者を対象に木材利用の意義を普及啓発する「木づかい運動」、子どもから大人までが木に親しみ木の文化を学ぶ「木育(もくいく)」を推進している。さらに、木造率が低い公共建築物に木材利用を促すため、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を制定し2010年に施行している。たとえば、岩手県気仙郡住田町の新庁舎は

木造で、町内産のスギ・カラマツを使用。柱・梁は燃えしろ設計による集成材を使用することで準耐火構造とし、木材を格子状で組んだ「ラチス耐力壁」を国内で初めて採用し耐震性を高めている。木質バイオマスのエネルギー利用も、長野県の協同組合などで取り入れられている。



第V章では、国有林野の管理経営についてまとめられている。国有林野の90%は水源涵養(かんよう)等を目的とした保有林である。また、我が国の世界自然遺産(知床、白神山、小笠原諸島、屋久島)の95%も国有林野であり、これらは国民共通の重要な財産として、一元的に管理されている。

国有林野の管理・取組については、治山事業への木材利用の推進、生物多様性を守りながらのシカ等の鳥獣被害への対策、林業経営における「買作業システム」や「システム販売」の取組、2004~400年の超長期に渡る森林整備への取組、地域の観光資源としての整備、などが主な活動として紹介されている。

また、2013年8月に完成した岩手県上閉伊郡大槌町の災害公営住宅(70戸)は、低層の木造和風建築で、木材の約9割に岩手県産材が使われている。各住戸には木の縁側が設置された。

第VI章では、東日本大震災からの復興についてまとめられている。東日本大震災では15県で林地が荒廃し、治山・林道施設の被害等が発生したが、すでに被害箇所9割強で復旧工事が着手され、その大部分で工事が完了した。被災した木材加工・流通施設(全国115か所)についても、廃棄・復旧・整備等の支援が行われ、98か所が操業を再開した。



海岸防災林については、6県にわたり総延長約140kmが被災したが、約107kmで復旧工事が着手済み(うち28kmで工事完了)となっている。

また、2013年8月に完成した岩手県上閉伊郡大槌町の災害公営住宅(70戸)は、低層の木造和風建築で、木材の約9割に岩手県産材が使われている。各住戸には木の縁側が設置された。森林の放射性物質対策では、森林内の放射性物質の分布状況等を調査しつつ、除染を実施中である。食用の林産物については、100Bq/kg以下という放射性物質の基準値に基づき、2014年12月現在、特用林

産物22品目が出荷制限されている。きのこ類については、「放射性物質低減のための原木きのこ栽培管理に関するガイドライン」(2013年10月)に基づき栽培管理を行い、基準値を超えるきのこが生産されない と判断された場合に出荷制限を解除している。岩手県での「いわて原木しいたけ産地再生の集い」(2014年10月)、福島県での「福島県きのご復興まつり」(同)、栃木県での4年ぶりの原木生しいたけの品評会開催(2015年2月)など、各地で産地再生に向けた取組が行われている。

また、避難指示等に伴う事業への支障や原木しいたけ等に関する損害賠償請求が受け付けられているが、2014年9月からは、避難指示区域内の森林に係る財物賠償の請求受付が開始された。

林業は、2020年の林産物輸出額250億円を具体的な目標とし、成長分野に育つことを目標に掲げられている。2014年度は円安の恩恵で輸出額が大幅に伸びたが、ニーズに合った製品づくりや林業経営の効率化を官民一体となっていくことが必要だろう。

情 報

町村Navi

町村の施策紹介

島根県海士町

住民参加の海士町版創生総合戦略会議「あすあま」

平成27年3月5日(木)、海士町に「明日の海士をつくる会」が誕生しました。

これは、海士町の「ありたい未来」を描き出し、平成28年度から5年間の「まち・ひと・しごと」創生総合戦略の策定と実践を目指す住民参加の会議のことで、通称は「あすあま」。このネーミングには、us（私たち）で海士をつくる、という想いが込められています。

「あすあま」の委員には、建設、教育、福祉、飲食、水産、観光、集落支援、サービなど、多様な業種の20名（そのうち民間11名）が結集し、会議はおよそ月2回のペースで継続。官民の立場を超えて毎回夜遅くまで顔と顔を付き合わせ、まちづくりにおける繋がりや構造を描き出す「ループ図」(※)という手法を取り入れるなど、グループワークを中心に活発な意見交換を続けてきました。

(※) ループ図…物事を広く深い視点で分析する「システム思考」という手法の一つで、影響を与えそうな要因や因果関係を見えやすくするもの。

委員からは、「50年先にどんな海士町を目指すか、さまざまな考えが聞けてとても面白かった。同じ町民でも価値観が全然違って、最初はそのことにまず感動しました」「あすあま」会長の飯古晴二さん、「この会議には各分野で第一線の人たちが集まっており、点が面になるように、チーム全体で強

くなってきたのを実感しています」「事務局長の濱中香理さん」といった声もあり、それぞれの立場で新鮮な感動を味わいながら、じっくりと議論を深めてきたことが窺えます。

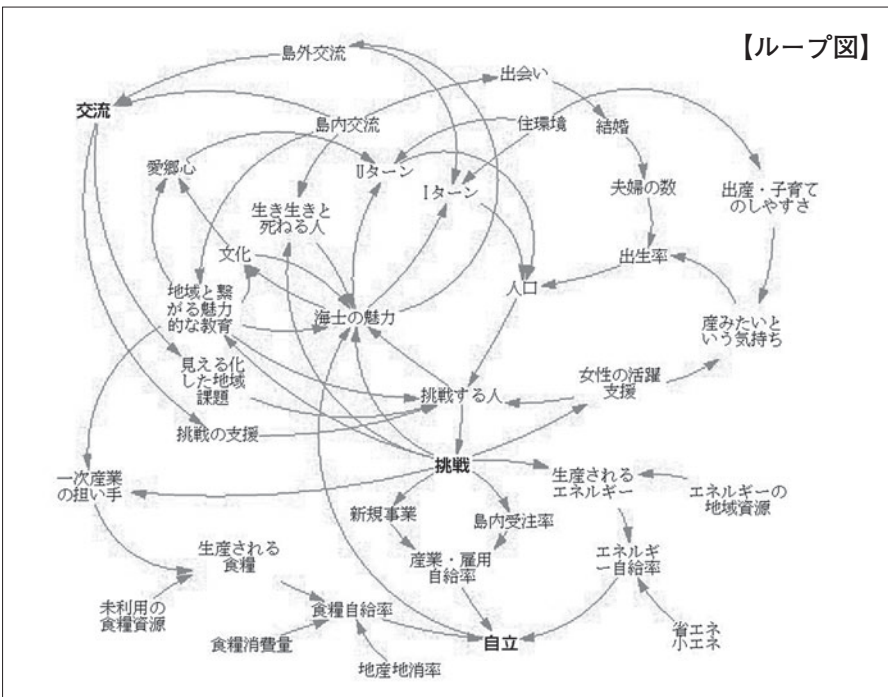
8月31日現在、これまでの「あすあま」会議は視察を含めて10回。第8回まででループ図を作り上げ(写真①)、目指したい海士町のイメージをメンバー全員で共有するとともに、計画の素案になる部分を考えました。

そして第9、10回ではループ図を活用しながら、どの部分が動き出せば町全体に好循環が生まれるのか、そのポイントを見つけ出してグループごとに効果的な



▷あすあま会議の様子(写真①)

【ループ図】



情 報

◆海士町の取組に思うこと―石破地方創生担当大臣―

アクションを考えると、作業をしました。その中から例えば、「未利用資源の活用と二次産業の発展をテーマに

海士の食材を提供できる場所や機会を増やすためのプロジェクト」や、「更なる挑戦や交流を生み出していく仕組

みと場所をつくるプロジェクト」、「子育て環境や住環境をより良くしていくことで海士への人の流れを生み出すプ

石破地方創生担当大臣は、今年4月、地域における意欲あるチャレンジを視察するため、海士町を訪問した。石破大臣に同町の取組等について伺った。

―聞き手：鐵井静寿子氏

海士町は、先進的な地域活性化の取組を実践していますが、視察してどのように思われましたか。

石破大臣：山内町長の危機感と使命感と構想力を感じた。人口減少に直面し、このままだとこの国はなくなってしまふという危機感、そして、自由で平和で豊かなこの国を次の世代に残さなければならぬという使命感、そのためにはどうしたらよいのかという構想力、この三つが我が国にとって必要なことではないだろうか。海士町は、小



さな島であるが、公共事業が減り、地方交付税も減少していく中であって、地域資源を活かした商品開発で「ささえカレ」を売り出し、岩がき「春香」や隠岐牛といった特産品を産み出し、「高校魅力化プロジェクト」で県立隠岐島前高校の学校改革を成功させてきた。地方交付税に頼り、公共事業を進め、企業誘致に期待するといった従来の自治体とは全く異なった取組をしているのは、町長の危機感と使命感と構想力があってこそだと思ふ。

―山内町長が執筆された『離島発生き残るための10の戦略』(下記参照)に感銘を受けられたと伺っていますが。

石破大臣：町には、多くの視察の方が訪れるが、その方たちに山内町長が必ず言うのは、「この町はまだ発展途上であり、決して完成型ではない」ということ。これは謙虚で立派な姿勢だと思ふ。この本には、町長の地域づくりの姿勢や町長の考えに共鳴した住民のことなどが描かれている。多くのことに気づかされる本であるので、自治体関係者には是非一読をお勧めしたい。

―若い世代のメンバーで構成する「明日の海士をつくる会」が総合戦略策定

に向けて熱心に活動していることについては、どのように思われますか。

石破大臣：昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、現在、自治体は地方版総合戦略の策定に取り組んでいる。海士町では、住民が、島前高校の生徒の意見も取り入れながら、夜の7時、8時から遅くまで、おにぎりを食べながら総合戦略作成の議論をしている。これこそがあるべき姿だと思ふ。総合戦略の策定では、「平成28年3月末までには、時間が無い、人材が無い、企画立案にかかるお金がない」といった声も耳にする。海士町にお金や人の余裕があるとも思えない、時間の制約はどれも同じである。そういう中であって、みんなで協力して知恵を出していこうというのが、海士町の総合戦略策定への取組だ。

海士町のまちづくりを振り返ると、重要なターニングポイントは、平成16年の「海士町自立促進プラン」の策定でした。三位一体の改革に伴って地方交付税が大幅削減されるという海士町最大のピンチをきっかけに、人口対策を機軸にした大胆な「攻めと守り」の

● 書籍紹介 ●



「離島発 生き残るための10の戦略」 山内道雄著 NHK出版 700円＋税

ロジエクト」、「再生可能エネルギーの活用を推進するプロジェクト」などが生まれました。

「あすあま」の任期は9月末まで。9月下旬の第12回会議で山内道雄海士町長へ、海士町の総合戦略につながる提言(「あすあま宣言」)を提出して、ひとまずの区切りとなります。その提言を受けて海士町では、2050年を見据えた、来年度から向こう5年間の海士町版創生総合戦略を10月末までに完成させる予定となっています。

提言の内容について「あすあま」事務局長の濱中さんは、「出来上がった計画だけではなく、僕たちが必死で考えてきたプロセスも盛り込んでいるところが特長です。具体的なプランに落とし込むまでの過程が何より大事である」と、海士町まで視察に来て下さった石破大臣も平副大臣も言って下さったので。(写真②) その言葉を胸に刻んで会議を進めてきた僕たちの提案を、大臣や副大臣にもぜひ見て頂きたいです」と語っています。



情 報

◁石破大臣と懇談するあすあま委員(写真②)



まちづくりが始まりました。まず「守り」の戦略とは、人件費削減などの徹底した行財政改革です。その給与カット分を財源として、子育て支援など少子化対策や定住促進策にも本腰を入れました。

一方の「攻め」とは、『島まるごとブランド化構想』に基づく官民一体の産業振興です。風土の恵みを最大限に活かした独創的なモノづくりによって第一次産業の再生を図り、養殖岩がき「春香」や、極上の黒毛和牛「島生まれ、

島育ち、隠岐牛」など、『海士ブランド』の特産品を続々と誕生させて外貨獲得につなげ、新たな雇用も創出しました。そして、産業など従来路線に加えての新しい動きとして近年とくに注目されているのが、ヒト、モノ、カネの分野です。

島前3島(西ノ島、中ノ島、知夫里島)の高校生らが通う県立隠岐島前高校の学校改革、いわゆる『高校魅力化プロジェクト』をはじめ、「あすあま」の活動によってまちづくりに対する強い当事者意識と結束力を備えたチームが育まれたということも、その一環と言えるでしょう。海士町の未来を担う人材の育成は、これまでの取組をよりパワーアップさせながら次世代へと繋ぐための、「挑戦し続ける」戦略と言いつこともできます。

山内町長は常々、「海士町はまだ成功事例ではない、挑戦事例だ」と繰り返し返しています。合言葉は「最後尾から最先端へ」。起死回生のまちづくりで注目していただけのようになった現在も甘んじることなく、常に最先端を目指す！という気概と危機感をもって、海士町は、あじたい未来を更新しながら進み続けています。

今年の8月22日(土)、海士



町の玄関である菱浦港周辺において、夏の風物詩「キンニヤモニヤ祭り」の第20回記念大会が盛大に開催されました。キンニヤモニヤとは、しゃもじを打ち鳴らしながら陽気に踊る海士発祥の民謡のことです。人口約2、400人のこの島で、本土から来てくださる皆さんも含めて1、000人以上もの踊り子が、キンニヤモニヤの大きな輪をつくるパレードが名物になっています。(写真③)

20年に亘って愛されてきたキンニヤモニヤ祭りは、町政の経営指針である『自立・挑戦・交流』と人と自然が輝く



▷夏の風物詩「キンニヤモニヤ祭り」(写真③)

き続ける島に『にも掲げられている、交流の象徴です。そして、『ないものはない』(※)というキャッチ「ピー」に込められた海士人の志、地域の絆を大切に、島の宝に誇りをもって前向きに頑張っていることよ！という島民の想いが詰まっています。

(※) ないものはない...過剰なモノはなくてよい。大事なことはすべてここにあり。『無い』と『有る』、2つの意味を併せもつこの言葉で海士町らしい生き方を発信しています。

♪世にも珍し キンニヤモニヤ
唄えや踊れ
苦勞忘れて キンニヤモニヤ
酔うほどに キクラゲチャカポン
持つてこいよ
♪とどけとどけよ キンニヤモニヤ
未までとどけ
未は鶴亀 キンニヤモニヤ
五葉の松 キクラゲチャカポン
持つてこいよ

これは民謡キンニヤモニヤの歌詞のほんの一部です。世にも珍しい、この島にしかできないまちづくりのため、支え合いながら陽気にやっつけよう。「あすあま」の活動で芽生えた新しい動きが、そして「あすあま」で育まれたメンバーたちの想いが、これから島全体に広がって、未(遠い未来)までとどきますように！そんな祈りにも感じられます。

(海士町役場 総務課)

◎2年連続の給与・ボーナスアップを勧告―人事院

人事院は8月6日、内閣等に2015年の国家公務員の給与・勤務時間を勧告した。月例給は1,469円(0.36%)、ボーナスは0.1月分それぞれ引き上げる。月例給とボーナスの増額は2年連続。俸給表(行政職(一))改定では、1級の初任給を2,500円引き上げ、若年層も同程度を改定。ボーナスは民間の支給割合に合わせ4.10月分を4.20月分に引き上げるが、勤務実績に応じた給与を推進するため引き上げ分を「勤務手当」に配分する。なお、総務省が同日発表した同給与改定に伴う所要額は1,540億円程度となる。

一方、勤務時間ではフレックスタイム制を原則、全職員に拡充する。職員から申請された場合、公務運営に支障がない範囲内で始業・終業の時刻(早める・遅らせる)を申告に基づき割り振る。具体的には、全員が勤務するコアタイムは毎日5時間とするが、育児・介護する職員はコアタイムを2〜4時間30分以内とし、さらに土日のほか1日の週休日設定も可能とした。

◎農地転用の「指定市町村基準」で検討会―内閣府・農水省

内閣府と農林水産省は8月17日、第1回・農地転用許可権限の指定市町村の指定基準等検討会を開いた。第5次地方分権一括法で、4ヶ超の農地転用許可権限が都道府県と農水大臣が指定する「指定市町村」に移譲されることを受け、同指定市町村の指定基準のあり方を検討するもの。来年4月の法施行に向け11月にも意見を取りまとめ、農水省が指定作業に入る。検討会では、農水省が「指定の検

討事項」として、①農地転用許可制度等に係る事務処理体制が整っている②優良農地を確保する目標を定めている③などを提示した。これに対し、地方代表委員から「やる気のある全ての市町村が活用できる制度とすべきだ」などの注文が相次いだ。

また、農水省が8月7日に発表した2014年度の食料自給率は、カロリーベースが39%で5年連続の同率、生産額ベースは64%で前年より1ポイント低下し過去最低を更新した。また、農水省は8月19日、鳥獣被害防止用電気柵の全国調査結果を発表した。約10万カ所あった電気柵のうち7%の約7,000カ所が安全対策が適切に行われていなかった。なお、環境省は8月30日、岐阜県で「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」を開催した。狩猟者の減少・高齢化が進んでいるため、将来の鳥獣保護管理の担い手確保を目的に開催した。

◎「生涯活躍のまち」構想で中間報告―政府有識者会議

政府の日本版CCRC構想有識者会議は8月25日、「生涯活躍のまち(日本版CCRC)構想」の中間報告をまとめた。同構想は、東京圏などの高齢者の地方移住を支援するもの。自治体が、対象区域や事業主体の条件などを内容とする「基本計画」「事業計画」を策定し、事業主体を選定した上で入居を募集する。入居後は「健康でアクティブな生活」を提供することにも、医療介護が必要となった時には「継続的なケア」も確保する。このため、国は生涯活躍のまち構想に関する「基本方針」を策定、新型交付金など財政面・法制面での支援を行う。年末に最終報告をまとめるほか、先行モデル事業も始める。

また、政府は同日、政府関係機関移転に関する有識者会議の初会合を開いた。今後、8月末に締め切った各道府県からの提案について関係府省からヒアリング、来年3月末に基本方針を決定する。一方、民間シンクタンク構想日本は8月20日、「ふるさと住民票」構想を発表した。出身者やふるさと納税した人、災害避難者らに「ふるさと住民票」を発行し、広報の発送や住民投票への参加、公共施設の利用など、準住民「サービス」を提供する。共同呼びかけ人には、片山健也北海道二セコ町長ら8人の市町村長が加わった。

◎新型交付金や企業版ふるさと納税など2016年度の予算概算要求―内閣府等

内閣官房と内閣府は8月27日、2016年度の地方創生関連予算概算要求・税制改正要望を発表した。新型交付金は1,080億円(事業費ベース2,160億円)計上した。内閣府の交付金(地域再生戦略交付金、地域再生基盤強化交付金)を再編するとともに、関係府省の裁量の経費から総額500億円を確保。従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援する。具体的には、生涯活躍のまち(日本版CCRC)や日本版MDO、小さな拠点、ローカルブランドディングなど先駆性のある取組、既存事業の隘路を発見・打開する取組(政策間連携)、先駆的・優良事例の横展開などを支援する。このほか、プロフェッショナル人材事業(29億円)、地方創生人材養成・確保事業(1億円)、地域経済分析システムによる地方版総合戦略支援(2億円)なども要求した。また、自治体の地方創生事業に対する企業の寄付の税額控除を新たに優遇する「企業版ふるさと納税」の創設も盛り込んだ。

一方、地方六団体は新型交付金の閣議決定を受けて8月5日にコメントを発表。今後の新型交付金の制度設計では内容や規模について地方の意見を十分踏まえて検討するよう要請。併せて、新型交付金の地方財政措置は地方創生1兆円と別に講ずべきとした。

◎地方一般財源の増額など2016年度予算概算要求を発表―総務省

総務省は8月28日、2016年度の予算概算要求を発表した。地方創生と経済好循環の確立、くらしやすく・いきいきとした社会の実現、安心・安全な社会構築などを柱に前年度比1,556億円(1.0%)増の16兆4,983億円を要求した。うち、地方交付税は、地方税収の増額を見込み同3,282億円(2.0%)減の16兆4,266億円を計上。併せて「交付税率引き上げ」も事項要求した。一般財源総額は同0.5兆円増の62.0兆円程度とした。地方創生関係では、一般行政経費に「まち・ひと・しごと創生事業費」1兆円を計上。地域経済循環創造事業交付金40億円、ICT創生推進事業7億円、集落ネットワーク圏形成9億円など計178億円を要求した。このほか、新規事業でマイナンバー通知カード等の有効性情報提供(19億円)、女性消防職員の活躍(1億円)などを盛り込んだ。

併せて、総務省は同日、地方行政サービス改革の推進に関する留意事項を総務大臣名で各都道府県等に送付した。「骨太の方針2015」に盛り込まれた民間委託の推進やBPR手法・ICT活用の業務見直し、財政マネジメント強化などを求めた。同省は、各自治体の取組状況を見える化し公表する。(ジャーナリスト 井田正夫)

町村

ご当地キャラじまん

Vol.4

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。今回は、中国・四国・九州エリアからピックアップ。

※今回紹介するご当地キャラは、9月に開催される「町イチ! 村イチ! 2015」に参加予定です。

中国・四国・九州
エリア



体験型修学旅行で周防大島町を訪れた生徒たちに、何か記念になるものを、と町の特産品をモチーフにして誕生した「みかキン」と「みかトト」。デザイナーは、町出身のデザイナー・新村則人さんが担当しました。顔はどちらも、町特産品のみかん・ゆめほっぺで、「みかトト」の体は、町でたくさん獲れるおいしいお魚がモチーフ。周防大島が金魚の形をしていることから、「みかキン」の体は金魚がモチーフなのです。ただの色違いじゃないことに、意外と気づかれています。人間の言葉はしゃべれないけれど、通訳のお兄さんお姉さんには、語尾に「…トト」「…キン」と言っていると聞いてないとか。丸みのあるかわいらしいキャラですが、よく見ると目が4つあるというシニールさでも人気を博しています。

周防大島町PRサポーター みかキン&みかトト



女の子のみかキン(写真右)は3月3日(きんぎょの日)、男の子のみかトトは10月10日(十十トト)生まれ。特技はフラと海の中を自由に泳ぐこと。なかなかアクティブな永遠の5歳児。

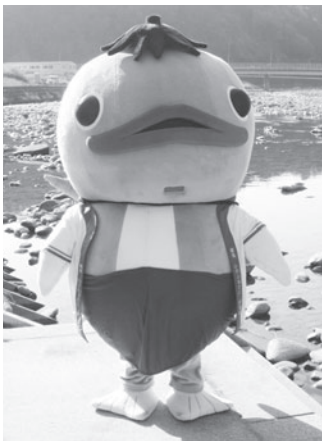
安田町イメージキャラクター 安田朗

安田朗

高知県安田町



町の観光振興を目的として、2013年に全国公募して誕生した「安田朗」。特産品であるアユとナスをモチーフとした独創的でユニークなキャラクターであることから、1000件を超える応募作品の中から選ばれました。ちなみに、読み方は、「やすたろう」ではなく「あんたろう」。見た目はボートとしていますが、実は大のまつり好きで明るい性格です。常にハッピーを着用し、好物の自然薯(山芋)を背負っていることもあります。「土佐鶴」や「南」などの地酒も好きで、少々おやじキャラではありますが、口癖の「あんだ、きいや〜」で、人々を呼び込み、日々町のPR活動に努めています。とはいえず、時々、出身地であり、大好きな場所でもある清流・安田川でのんびり過ごすこともあるそうです。



6月1日、アユ漁の解禁日に生まれた。清流・安田川出身のアユのオス。帽子とパンツは、ナスパージュンのほかに、トマトパージュンもあり、意外とお洒落さんらしい。

白石町特産物PRキャラクター しーしーみのこちゃん

しーしーみのこちゃん

佐賀県白石町



2011年3月20日生まれ。争うことが嫌いで、好きな言葉が「今年も豊作」という、とっても健康な女の子。町特産物PRのために全国を飛び回って、愛嬌をふりまいている。

「みんなに食べてもらいたい」という町の特産品の思いが結晶となって誕生した「しーしーみのりちゃん」。たまねぎの頭に海苔と稲穂の髪飾りをつけ、体はイチゴ(もちろん、「そがほのか」)、リンゴンのポシエットを身に付けているという、一目で町の特産品がわかるキャラクター。好物のおにぎりを食べて、いつも元気な女の子もたちと触れ合うことが大好きなので、時間があると子どもたちがたくさんいるところに出かけちゃいます。町ホームページでは、何気ない町の日常やイベントなどを紹介している「みのりちゃん通信」を担当。2014年5月には、町の高校生が作詞した「しーしーみのりちゃんのうた」が、ダンスとともに披露されました。

次回は、北海道・東北エリアをご紹介します

随 想

随 想

水と緑の心の源流郷

神奈川県町村会長・清川村長 大矢 明夫



執務室から観る山々は新緑が日増しに濃くなり、豊かな自然が十分過ぎる程感じられます。

清川村は、首都東京から50キロメートル圏内に位置し、神奈川県北西部の東丹沢山麓に位置しています。総面積71・24平方キロメートル、神奈川県唯一の村であり、村の全体が丹沢大山国定公園と県立丹沢大山自然公園に含まれ、文字通り豊かな自然に恵まれた地域です。

地形は、標高1、567メートルの日本百名山の一座に数える丹沢山を中心とした1、000メートル級山塊ブロックと、中津川や小鮎川に沿った150メートル前後の低地帯ブロックに大別できます。村の90パーセントが山岳地形で、平坦地形は極めて狭小です。昭和31年9月30日に煤ヶ谷村と宮ヶ瀬村が合併し、清川村が発足して、来年60周年を迎えます。

人々の暮らし

丹沢山塊の東麓に位置する清川村の人々は、江戸のころより幕府の御料林として貴重な木材の供給の仕事に従事してきましたが、明治・大正・昭和と時が移り、昭和30年代までは建築木材、木炭、薪などの産地として日本の近代化、戦後の復興に大きな役割を担ってきました。

その後、工業の振興・近代化の波と燃料革命により、狭隘な田畑や山の恵みの生活から、押し寄せる近隣市町の工業団地の労働力として仕事を変え、そしてまた多くの若い人たちは都市部に流出しました。

首都圏最大級のダム建設

この間、国直轄による首都圏最大級の宮ヶ瀬ダム建設事業が昭和42年9月に計画発表され、(旧)宮ヶ瀬村の全戸(274戸1、104人)が水没するという、村の存亡にもかかわる未曾有の難関に直面しましたが、先人

の英知とたゆまぬ努力と決断によって、ようやく昭和56年8月に補償基準の基本協定が結ばれ、ここにダム建設の大きな山場を乗り越えることができました。技術の先端を集めた工事は平成12年12月に完成、平成13年4月から本格運用を開始しました。1億9、300万トンの貯水量を誇る宮ヶ瀬湖は清川村のシンボルであり、神奈川県民の重要な水源地として、さらに多くの都市部の人たちに癒しとレクリエーションの場として利用されています。

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団が管理するダム湖畔園地を中心に、春の桜まつり、夏の花火大会など年間を通して様々なイベントが開催されており、特に毎年11月末から12月25日まで毎日開催される冬のクリスマスイルミネーションは、今年30回目、また、ダム完成から15年目を迎えるため、特別な思いの開催となるでしょう。

丹沢山・宮ヶ瀬湖・人情の村「清川」の将来

現在、清川村の人口はわずか3、000余人ほどですが、人々は人情厚く、その結束は強く、少子高齢化の波の中、これに負けない地域の元気と活力・協働の力で「あたたかみと活力のある村づくり」を目指して努力を続けています。○子ども子育て支援

- ・小児医療費は中学3年まで所得制限なしで無料化
- ・きよかわっ子誕生祝金(すべての新生児に10万円)
- ・村立幼稚園保育料無料化
- ・小学校・中学校進学時に入学祝金(3万円)支給

- ・高校生から大学生に最寄りの鉄道駅間のバス通学費半額補助

○高齢者福祉

- ・65歳以上の方たちに村営入浴施設入浴料の無料化
- ・民営バスのワンコイン乗車券購入費の9分の7を助成
- ・村内お出かけ支援バスの無料運行

○生活環境

- ・おいしく、安全安心で低価格の村営水道
- ・公共下水道普及率98パーセント
- ・公共施設の耐震化率100パーセント

これ以外にも住民サービスの充実度は高く、枚挙に遑がありません。

むすびに

清川村にしかできない。清川村にならでできる。清川村にしかない「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を村民と共につくり、これからも時代を先取りしたサービスを住民と協働の力で形作りながら、「故郷を大切に思う心と小さくてもキラリと輝く元気な清川村づくり」を目指してまいります。

町村の自慢のグルメ・物産が大集合!



140体以上の
ご当地
キャラクターも
大集合

各日とも
先着1万5千名様に
オリジナル
エコバッグを
プレゼント!

今年も秋に開催!
**入場
無料**

2015

町村から日本を元気にする

日時

2015年 **9月22日** (火・休) 12:00~19:00
9月23日 (水・祝) 10:00~17:00

会場

東京国際フォーラム
展示ホール/ロビーギャラリー
サテライト会場:有楽町駅前広場

主催

全国町村会

全国約80町村の
窓口が集結!
生活に密着した情報が
一度に手に入るチャンス

**移住・定住
相談コーナー**

■後援:総務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・観光庁・全国知事会・全国市長会・全国都道府県議会連合会
全国市議会連合会・全国町村議会連合会・東京都・読売新聞社

machilmural.com

町イチ!村イチ!

検索

※掲載されている特産品などは都合により出展がない場合がございます。※混雑が予想されますので、会場の一部で入場制限をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

今年の秋も

デツカい実がなるぞぞぞ!

オータム史上
最高額です!!

2015年新市町村振興宝くじ

オータムジャンボ宝くじ

1等・前後賞合わせて

5億円

売り切れしだい
発売終了!

1枚300円

●1等・前後賞合わせて5億円(1等3億円/前後賞各1億円)

●発売期間 9月28日(月)~10月16日(金) ●抽せん日 10月23日(金)

9月28日(月)発売

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

一般財団法人全国市町村振興協会

